

2025 年 7 月 24 日

報道機関 各位

長崎大学病院・長崎県・オムロン ヘルスケア株式会社の三者による 「脳卒中・心臓病等の予防及び医療提供体制推進に関する協力協定」締結式について

長崎大学病院は、このたび長崎県及びオムロン ヘルスケア株式会社との三者による「脳卒中・心臓病等の予防及び医療提供体制推進に関する協力協定」を締結することとなりました。

つきましては、締結式を以下のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

また、締結式終了後には、オムロン ヘルスケア株式会社の協賛も得て、長崎大学病院、日本高血圧協会、日本心臓財団、協力企業等により、高血圧予防をテーマとした公開講座を開催いたします。

本件につきまして、取材をご希望の方は、事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

■協力協定締結式 概要

日時：2025 年 7 月 27 日（日） 11:30 から 12:00（予定）

場所：ミライ on 図書館 2 階研修室（大村市東本町 481）

出席者：

- ・オムロン ヘルスケア株式会社 商品事業統轄部
ゼロイベント事業開発部長 野崎 大輔 様
- ・長崎大学病院長 尾崎 誠
- ・長崎県福祉保健部長 新田 惇一 様

式次第：

- （1）開会 11:30～
- （2）出席者紹介
- （3）協定概要説明
- （4）署名・記念撮影
- （5）各代表者挨拶
- （6）質疑応答
- （7）閉会 12:00（予定）

■締結式終了後、市民公開講座「血圧をしっかり下げて健康寿命を延ばしましょう」のご案内

日時：2025 年 7 月 27 日（日） 13:00～16:00

場所：ミライ on 図書館 多目的ホール・2 階研修室

参考 URL：<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/event/event1772.html>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学病院総務課（広報・評価） Tel：095-819-7790 Mail：mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp

【脳卒中・心臓病等の予防及び医療提供体制推進に関する協力協定の概要】

1 目的

長崎県、長崎大学病院、企業が連携し「長崎県循環器病対策推進計画」に基づく脳卒中・心臓病等の予防や正しい知識の普及啓発、保健、医療、福祉サービス提供の充実の推進に取り組むことにより、長崎県民の「健康寿命の延伸」、「脳卒中・心臓病等の年齢調整死亡率の減少」を図る。

2 活動内容

協定締結者が相互に連携、協働し以下の取組を行う

- (1) 県民への情報発信
- (2) 県民意識調査
- (3) 特定保健指導の推進
- (4) 脳卒中・心臓病等の重症化予防のための医療機関連携体制構築支援
- (5) その他、本協定の目的を達するために必要な事項

3 現時点における協定締結企業 9 社（R7.7.1 時点）

- ・アクサ生命保険株式会社
- ・エドワーズライフサイエンス合同会社
- ・株式会社インテグリティ・ヘルスケア
- ・SOMPO ひまわり生命保険株式会社
- ・東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- ・日本生命保険相互会社
- ・ノバルティスファーマ株式会社
- ・藤村薬品株式会社
- ・明治安田生命保険相互会社

【その他】

県内の脳卒中、心臓病等の状況について（別添参照）

脳卒中・心臓病等について（参考資料）

○脳卒中とは？

脳の血管が詰まったり（閉塞）破れる（出血）ことで、脳の働きが悪くなり、身体の機能に影響を及ぼす疾病で、主に以下の３つがあります。

- ・脳梗塞：血管が詰まる
- ・脳出血：血管が破れる
- ・くも膜下出血：脳動脈瘤が破裂する

日本では、脳卒中は死因の第４位で、寝たきりになる原因の第２位です。

麻痺や言葉が話せなくなる、記憶があいまいになる等の後遺症が残ることがあります。

脳卒中の最大の原因は高血圧で、食生活や運動などの生活習慣を改善することが発症予防に効果的です。また発症後には、早めのリハビリもとても重要となります。

○心臓病とは？

心臓の構造や機能に異常が生じることで起こる病気の総称で、代表的なものとしては、以下のような疾患があげられます。

- ・心不全：心臓のポンプ機能が低下する
- ・虚血性心疾患：心筋への血流が不足する
- ・心臓弁膜症：心臓の弁に異常がある
- ・不整脈：脈の乱れを伴う
- ・心筋症：心筋自体の異常がある
- ・先天性心疾患：生まれつきの構造異常がある

日本では、心臓病は死因の第２位で、特に高齢化の進展に伴い、心不全患者数が増加傾向にあります。脳卒中同様、生活習慣の改善が予防に効果的です。

○本県の現状

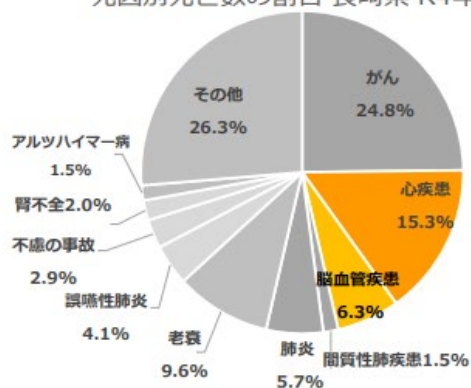
全国同様、本県においても心疾患は死亡原因の第２位、脳血管疾患は第４位であり、心疾患と脳血管疾患をあわせると、年間約４千人の方が亡くなっています。

県内の心疾患の患者数の推計人数は、入院・外来ともにほぼ現状維持の状況。

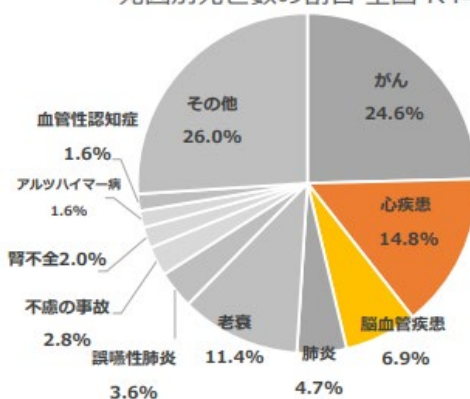
県内の脳血管疾患の患者数の推計人数は、入院は減少傾向。外来の患者数は、ほぼ現状維持の状況。

高齢化により、死亡者総数は増加傾向にありますが、年齢構成の違いを考慮し補正した年齢調整死亡率は減少傾向にあります。

死因別死亡数の割合 長崎県 R4年

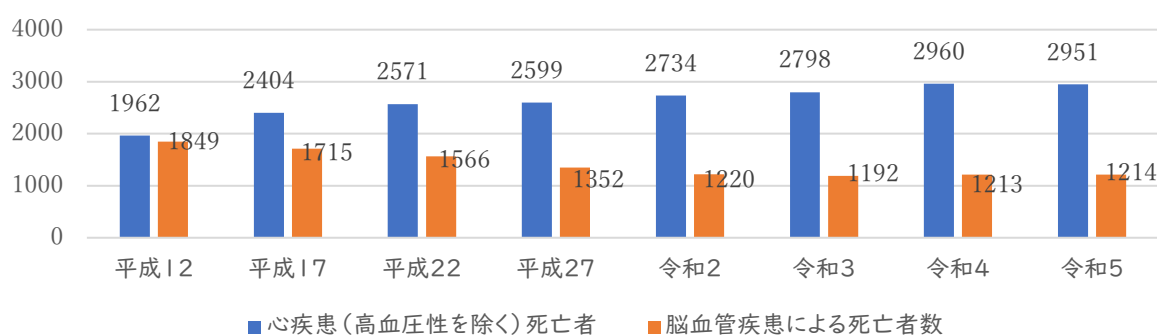


死因別死亡数の割合 全国 R4年



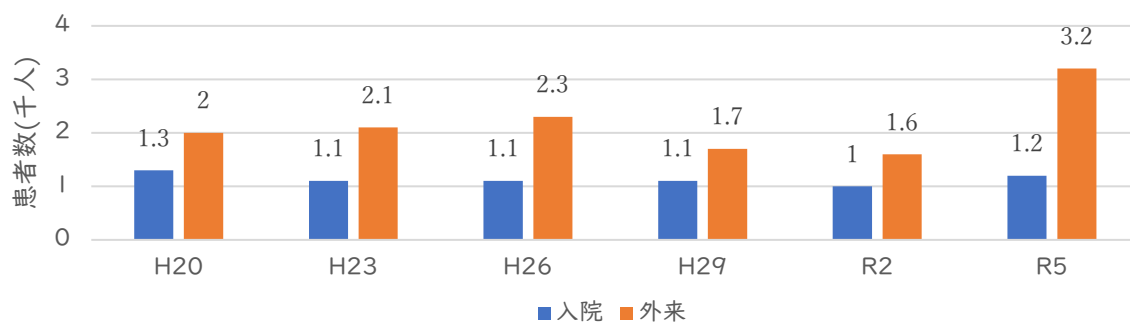
出典:厚生労働省「人口動態統計」

長崎県の死因別の総死亡者数(人)

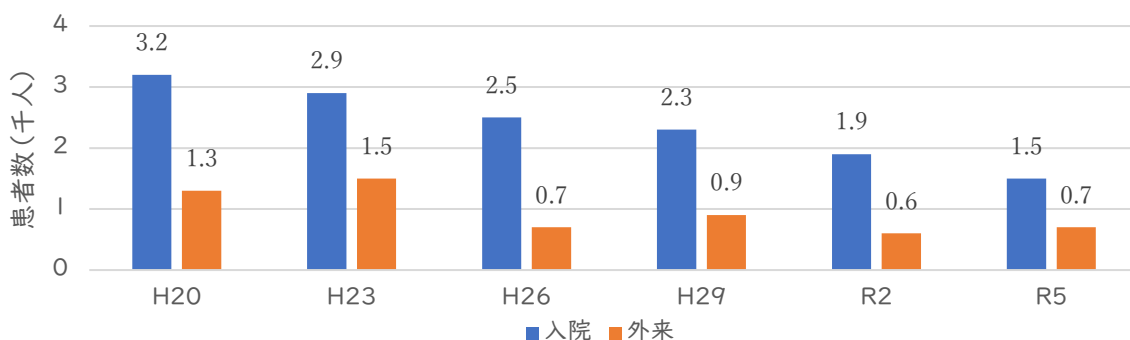


出典:厚生労働省「人口動態統計」

県内心疾患の推計患者数(千人)



県内脳血管疾患の推計患者数(千人)



出典:厚生労働省「患者調査」